

里海通信

能登町立小木小学校

令和6年7月19日

今年度も各学年で行っている海洋教育を里海通信でご紹介していきたいと思います。本校では、海洋教育を通して、小木の大切な資源である海そのものに興味・関心を高め、地域の良さや問題点に気づく学習を進めることで、今よりもっと小木の町に愛着をもてるようになることを目指しています。

本校の海洋教育は、①海に親しむ ②海を知る ③海を守る ④海を利用する の4つの視点で取り組んでいます。低学年は生活科、中・高学年は総合的な学習の時間で行います。また、高学年は「里海科」という教科を特例で文部科学省の認可を受けて取り組んでいます。

1. 海洋教育について

A海に親しむ

- 海を体験しよう
- 漁師の仕事を体験しよう
- 海に関わる仕事を見学しよう
- 海に関わる活動を体験しよう

B海を知る

- 海の魚について調べよう
- 海の植物について調べよう
- 海の生き物の誕生を調べよう
- 海の生き物の関連について調べよう
- 海を通した文化交流の歴史を調べよう
- 海流や潮の満ち干、海底の地形について調べよう

C海を守る

- 日本の水産業と海洋環境について調べよう
- 地球温暖化と海の変化について調べよう
- 海の環境の変化と生き物の暮らしについて調べよう
- 人々の暮らしが海洋に及ぼす影響について調べよう

D海を利用する

- 日本の水産業について調べよう
- 日本の海運について調べよう
- 世界の海運について調べよう
- 世界の結びつきと海運の働きについて調べよう
- 日本の海洋でのエネルギー開発について調べよう

今年度の海洋教育の研究主題

海に親しみ「ふるさと」にほこりと愛着を持つ児童の育成
～課題意識をもち対話を通して探究する児童～

海洋教育研究を推進し、児童の学力向上につながるよう、研究を進めています。1学期に行った海洋教育について、ご紹介します。

1年生 生活科：なつとなかよし

五色ヶ浜で、海遊びをしました。砂浜を裸足で歩いたり、手で穴を掘ったりして砂の柔らかさを感じることができました。そして、大きな砂山を掘ったり、海水をかけたりして砂のかまくら（すなくら）を作りました。全身を使って、里海の自然を感じることができました。



2年生 生活科：めざせ！海の生きものはかせ

のと海洋ふれあいセンター付近の海岸に磯観察に行きました。やどかりや、イソシマエビ、カニを採集できました。大きなイシガニやアメフラシなど自分たちでは採集できないものも観察することができました。秋には海の生きものはかせになって、「九十九子水族館」をオープンさせる予定です。



3年生 総合：わたしたちの海を知ろう

自分たちの「やりたい」活動を考え、金沢大学の調査実習船「あおさぎ」に乗船し、1kmほど沖のところまで行きました。湾の中と沖での波の違いを感じたり、海上から小木の町を観察したりしました。また、津波で崩落被害があった奈古浦も観察することができました。船に興味を持ち、大きなエンジンや風向きを知る機械などに驚いていました。



4・5年生 総合：残そう！小木の伝統・祭り

小木伝統の祭り、「伴旗祭り」を見学しました。小木中学校の生徒が制作した伴旗をあげる様子と、神事を見学しました。見学をきっかけに、伴旗祭りに興味を持ち、調べ学習が始まりました。調べ学習を進めると、祭りが明治から始まり、旗の高さが20mほどあるということが分かりました。



6年生 里海科：陸の植物と海藻を比べよう

理科で、ジャガイモの葉に日光を当てるとでんぷんができることを学習したことを生かし、海藻ではどうなるのかを解決するために実験しました。スジアオノリ、アミジグサ、ヒビロウドの3種類の海藻を使いました。スジアオノリとヒビロウドは日光に当たることで、ヨウ素液が青紫色に変化しました。種類によっては陸の植物と同様に、日光に当たることによってでんぷんを作ることが分かりました。

